



葉っぱも使っちゃおう! にんじん丸ごとグリーンホットケーキで食の名人

11月6日、熊本テルサで、くまもとふるさと食の名人認定式が行われました。

食の名人とは、食の大切さを地域に伝える役割を担う人材を県が認定するものです。

町からは、生活研究グループで、食育活動などに熱心に取り組んでおられる古田朱実さん(新山)が、菊陽にんじんをもっとPRしたいと考案されたグリーンホットケーキを出品し、特産加工品の部で認定されました。レシピは役場農政課で配布しています。



▲食の名人：古田朱実さん「グリーンホットケーキ」

スタントマンによる 交通安全教育が行われました

11月19日、菊陽中学校グラウンドで、生徒や地域住民を対象に実際にヒヤットする体験を通じて啓発効果を高める「スクエアード・ストレイト教育技法」を用いた交通安全教育が、熊本県警察本部主催により実施されました。

生徒たちは、携帯電話を使用しながらの自転車利用や二人乗りの危険性を実際に体験し、「今後のルール・マナーとして生かしていきたい」と語っていました。



▲危険な乗り方の体験をする生徒たち

さんふれあ秋の感謝祭

11月23日、「さんふれあ」で、さん彩出荷協議会による秋の感謝祭が開催されました。

当日は好天に恵まれ、開始前からにんじんの詰め放題コーナーや、「だご汁」「からいもフライ」の振る舞いコーナーには長蛇の列ができ、大勢の来場者でにぎわいました。

今回振る舞われただご汁には、町特産のにんじんをPRしようと、すりおろしたにんじんを練りこんだだごを使用。色鮮やかなオレンジ色のだごは、来場者の関心を集めました。



▲毎回大人気のにんじんの詰め放題コーナー

鉄砲小路ぶら〜り散策 菊陽町スタンプラリー

11月23日、菊陽町スタンプラリーを開催しました。

これは、JR九州秋のウォーキングと合同で行われ、JR三里木駅をスタート・ゴールとする約8kmのコースを、町内外から約500人が参加し、沿道の景色や地域住民との交流を楽しみながら歩きました。

最後のスタンプポイントである「さんふれあ」では抽選会も行われ、菊陽町でとれた野菜や地場企業の味噌などのプレゼントがあり、参加者は「いいお土産になった」と喜んでいました。



▲散策を楽しむ参加者(さんふれあ前)

武中女子駅伝 県大会2度目の優勝 九州大会では堂々の準V

11月17日、天草市で県中学駅伝大会が行われ、武蔵ヶ丘中学校が5区間12kmのコースを40分32秒で走り、4年ぶり2度目の優勝を飾りました。同校は12月19日に山口県で行われる全国大会への出場を決めています。

県大会は、寒さに加え風が強く、小雨が降るといふ悪天候の中、また、アップダウンの激しい難コースで行われました。

1区の吉田優香さんが各校のエース区間で6位と流れをつくり、2区の神田真奈美さんが逆風でアップコースの区間を区間賞の走りで首位と3秒差につけると、続く柿原亜紀さんも区間賞でついにトップに躍り出ました。4区は藤田和見さんが2位に踏みとどまる粘りの走りで大健闘。最終5区では1年生の一般野女さんが区間新記録9分29秒をマークする走りで17秒差をひっくり返し、さらに2位に36秒差をつけて見事逆転優勝を果たしました。

目標の全国大会出場がかない、選手たちはとてもうれしそうでした。

また、12月5日、宮崎県西都市で九州中学校駅伝競走大会が行われ、武蔵ヶ丘中学校は40分53秒で堂々の準優勝と力を発揮しました。

2区の神田真奈美さんが区間1位の走りで5人を抜き首位に浮上すると、その後一時後退したものの、最終5区の一紋野女さんが区間2位の走りで巻き返し、トップとわずか9秒差でゴールしました。

九州大会でも武蔵ヶ丘中学校の強さをみせてくれました。



▲県大会で優勝した武蔵ヶ丘中学校の選手たち

菊池郡市民駅伝大会 菊陽町は団体成績の部第2位

12月13日、杉並木公園で菊池郡市民駅伝大会が行われ、菊陽町は団体第2位の結果を残しました。

今大会には、菊陽町からA・Bの2チームが参加。7区間(計27.9km)を性別・年代別に走りました。

菊陽町代表の2チームは、他市町の強豪を相手に粘りの走りを見せ、好成績を出しました。

チーム成績は、次のとおりです。

【第3位】菊陽町A 1時間53分9秒

【第7位】菊陽町B 1時間56分25秒



▲離されまいと走る1区の選手たち

菊陽産野菜たっぷり 地産地消料理教室

11月7日、西部町民センターで、光の森キャロット保育園の保護者を対象に、菊陽町生活研究グループ員が講師を務める料理教室が行われました。

菊陽産の野菜をたっぷり使った「だご汁」「炊き込みご飯」「浅漬け」は、家でも作ってみたいとの声が上がると好評でした。

また、親子で参加している家庭もあり、楽しんで講習を受ける姿が見られました。



▲子どもと一緒に楽しく料理を作っています